

前期課程

野外活動で学んだこと

五年A組 伊藤 珠里

私が野外活動で学んだことは主に二つあります。一つ目は、普段会話をしない仲間とも協力し合うことです。私は、仲の良い友達と部屋の班しか一緒ではなく不安でした。でも、ウォークラリーや砂の造形で普段会話をしない人と活動することで、その人たちのよさや知らない一面を知ることができました。このように、普段会話をしない仲間とも協力し合うことが大切だと思いました。

二つ目は、何事も最初は自分で調べるといことです。野外活動では、自立することが目的なので自分のことは自分でやるのが当然でした。私は日頃、物をなくすことが多いです。だから、野外活動の時は特に気を付けました。どこに何があるかを自分で確認することで、なくしものはありませんでした。このように自分のことは自分でやる大切さ、そして難しさを学びました。これらのことを普段の学校生活で生かしていきたいです。



野外活動を通して

五年A組 宮本 結斗

ほかが野外活動を通して考えたことは二つあります。

一つ目は、友達との関係です。ぼくは元々、あまり知らない子とはかわちが少なかつたけど、野外活動で一緒に色々な事に取り組めば、相手のよいところが分かつて、仲良くなれることを知りました。

二つ目は、協力し合つて何かをやりとげた時のうれしさです。ぼくは野外活動の前は、自分一人だけでやろうとしたり、すぐに先生に聞いたりしてました。だけど野外活動で協力し合つて砂の造形やウォークラリーをクリアした時の達成感を感じました。

野外活動を通してたくさんのかたとを知つたり、友達のよさをたくさん見つけたりすることができました。これからは、みんなで協力しながら仲良くなつていこうと思ひました。



野外活動を通じて学んだこと

五年B組 石田 麻衣

わたしが野外活動で心に残つたことは二つあります。

一つ目は、砂の造形です。砂を

掘つて、かためてカメの形を作りました。とくにカメのこうらを丸くすることをがんばりました。また、目立つように、まわりに石をならべました。きれいに作るのは大変だったけれど、うまく作ることでできたので良かったです。

二つ目は、野外炊飯です。わたしは、野菜を切る係でした。野菜のかたさ、切り方を工夫しました。一番難しかったことは、大きさをそろえることです。みんなが食べやすく、かたくならない大きさに切らないといけないからです。完成したカレーライスは、みんなで協力して作ったのでいつもよりおいしく感じました。

普段、話す人、話さない人関係なく、みんなで協力し合つて過ごせた野外活動だと思ひました。この経験を活かして、これから協力して助け合えるような学校生活にしたいです。



野外活動の思い出

五年B組 渡邊 大河

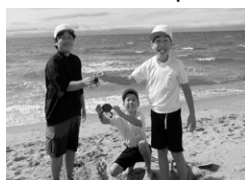
ほかは野外活動で、二つの思い出があります。

一つ目は砂の造形です。砂の造形とは、砂浜にある砂を使って、一つの作品をグループ全員で協力してつくる活動です。ほかたちの

班では、「エイ」を作ることにしました。班全員で分担してエイを作りました。エイを完成させるという目標を全員で達成できてとてもうれしかったです。

二つ目はキャンプファイヤーでやったスタンツです。ほかたちは「コント」をやりました。コントをやる前はともきんちようしてて、すべつてしまわなにか心配でした。でも思ひきつてやつてみたら、みんなが笑つてくれて、「自分には人を笑顔にする力があるんだな」と実感しました。

こうして、ほかは野外活動で、周りの人たちと協力することの大切さを学びました。そして、「協力したらなんでもできる」ということが分かつたので、これからの学校生活では協力することを意識していきたいです。



後期課程

利用者のための工夫

七年A組 伊藤 愛依子

私は飛鳥村図書館での職場体験を通して、たくさんのかことを学びました。職場体験での大きな発見



職場体験学習で学んだこと

七年A組 横井 花梨

職場体験学習で学んだことは、保育所の先生方の大変さです。

初日は年中クラスに入りました。まず朝に体操をしました。ボールを転がしたり、雲梯をする時に子どもたちの補助をしたりしました。体操が終わった後には、読み聞かせをしました。初めて子どもたちに読み聞かせをするので、緊張し

は、「利用者通知」というシステムがあることでした。これは、利用者ごとに「前回カード無しで借りた」や「レシートの小さな文字が読みづらいので、裏に大きく書く」といった情報を記録し、カウンセターのスタッフが誰でも適切な対応をできるようにするものです。この仕組みを知って、図書館がどれだけ利用者に配慮しているかを実感しました。

また、カウンセラー業務を通して、利用者が快適に過ごせるように、行動の一つ一つに工夫があることを学びました。例えば、説明を丁寧に添えることや、終始笑顔で挨拶を忘れないことなどがありました。これらの細かい配慮が、利用者にとって大切なことだと感じました。



働いて学んだこと、わかったこと

七年B組 川内 琴葉

職場体験を通じて、コミュニケーションの大切さや、基本的な用意、接客の流れなどを学びました。

お客様から注文を取るときは、なるべく大きく伝票に書くことが大切だと感じました。また、もし書いている途中でわからなくなつた場合、「もう一度お願いします」としつかり伝えることが重要だと学びました。最初は不安でしたが、慣れていくうちにお客様とのコミュニケーションが取れるようになり、少しずつ自信がもてるようになりました。

次に、用意について学んだことです。朝はホットコーヒーとゆで

ました。

二日目には、年長クラスに入りました。年長クラスでは、発表会の練習や劇を行いました。発表会の練習では、先生方が子どもたち一人一人に台詞などを教えていて、その姿を見て、改めて先生方の大変さが分かりました。

この職場体験学習を通して、笑顔が大切だということや、子どもたちの目線に合わせて寄り添うことの重要性を学びました。



人を思う気持ちの大切さ

七年B組 小坂井 杏莉

職場体験を通して学んだことは、「人を思う気持ち」の大切さです。

接客のときには緊張して声がうまく出ませんでした。お店の方が「習うより慣れろ」と言ってくれて、少しずつ頑張ろうと思うようになり、うなぎを焼いている時に何を考えているのか質問したところ、すべて「お客様」のことを考えていると教えていただきました。お客様に喜んでほしいという思いが強く伝わり、私もその気持ちを大切にしたいと思いました。

卵をよく頼まれるので、基本的にはお盆、スプーン、ゆで卵、ミルク、ペーパーナプキンを準備することが大切だと教わりました。他の料理でも、基本的に必要なものをあらかじめしっかりと準備しておくことが大切だと学びました。

注文を取るときにお客様とコミュニケーションをとることや、用意をしておくこと。どちらもお客様に満足してもらうために「大切なことがある」とわかりました。この体験を今後に活かし、さらに成長していきたいと思います。



飛島学園 1月の行事予定

- 7日(火) 3学期始業式
- 8日(水) 給食開始
- 8日(水)～10日(金) 9年三者懇談
- 16日(木) 5・6・7年英検Jr・IBA受験 委員会
- 21日(火) 減農薬野菜給食
- 23日(木) クラブ

接客の際には、「笑顔で、目を見て、はっきりと話す」ことが大切だと教わりました。お店の方々は、常にお客様の笑顔を見たいと思って努力していて、私もその姿勢を見習いたいと感じました。

この三日間の体験を通して、私は「人を思う気持ち」の大切さを学びました。これからも人に対して思いやりをもちながら、成長していきたいと思っています。

